

## 中学2年 単元名「海と人の結びつきを深める①」（6時間）

### 1 単元設定の理由

- ・ 中学1年での学びをふまえたうえで、海洋に関する視野を広げ、海洋に関する学びを深める。  
このことにより、海洋に関する存在論的な学びを深めさせる。

### 2 単元の目標

- ・ 地球規模変動における生物の生態への影響や沿岸地形への影響など、現在の海洋に関する問題を知ること、海洋に関する学問的関心や海洋と人間の関係についての興味関心を持たせる。
- ・ ヨット帆走実習を通して、風や波の動きを把握しながらヨット帆走技術を高める。
- ・ ヨット帆走実習を通して体感した海洋把握と、講義を通して得た海洋に関する知識や関心を結びつけて、海洋理解を深める。

### 3 単元の評価基準

- ・ 講義にもとづくレポート作成による自己評価
- ・ ヨット帆走実習に関するレポート作成による自己評価  
(年度内に、教員によるヨット帆走実習レポート評価を検討する)

### 4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	ヨット進水式・帆走実習  (※帆走実習は一日のうち3～4時間かけて実施する)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 準備から片づけまで相互協力を意識づける。</li><li>・ 帆走時において風や波の状態、艇の操作について他艇の生徒と情報交換してよいとする。</li></ul>
2	ヨット進水式・帆走実習に関するレポート作成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ クラス内で生徒個人の感想や学びを交換しあったうえで、レポート作成を行なうことが望ましい。</li></ul>
3	ヨット帆走実習  (※帆走実習は一日のうち3～4時間かけて実施する)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 準備から片づけまで相互協力を意識づける。</li><li>・ 風や波の状態や艇の操作について自分で把握することに努めさせる。</li></ul>
4	ヨット帆走実習に関するレポート作成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回のレポートをふまえて、今回の帆走実習の成果を位置づけるよう留意させる。</li></ul>

#### 外部連携 / 教材等

海洋学特別講義は、講義内容や講師に関して、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携のうえで、実施するものである。